

「同対審」答申 50年の 取り組みは？



西山 富三郎 議員

町長

基本的人権を尊重して 取り組む

【西山】「同対審」答申で打ち出された精神を現代に生かし、憲法の理念を次世代に引き継ぎ、差別解消を再認識する必要があるが。

【町長】日本政府が同和問題を国策として初めて確認した歴史的文章である。答申を受け、特別措置が制定されたのは画期的な意義を有し、現在も取り組んでいる。

【教育委員長】今なお残る部落差別の解消に向けて、地区進出学習会を開いている。差別



差別禁止法を求める鳥取県民集会

に立ち向かう意識を高め、互いに支え合う人間関係の育成、部落解放につながる学力の向上を目的に、保護者の強い思いに答え、学校が実施している。

【西山】「地対協」意見具申の内容は。

【町長】特別対策の終了、すなわち同和对策問題解決の取り組みを放棄するものではない。一般施策への移行後は、基本的人権を尊重し、主体的な取り組みが求められる。

健康で長生きの まちづくりは？

町長

健康への意識を高める

【西山】百歳への挑戦。高齢者の意識改革は。

【町長】本年5月末で18人が百歳を超えている。敬意と畏敬の念を抱く。健康で生涯をまっとうしたいと思いがながら、願いがかなう人はそれほど多くない。

健康で長生きするため、食生活の改善、運動や生涯学習の実践、環境の整備、人との積極的な交流の充実など、望ましい生活を営むような環境づくりを進めたい。

【西山】健康寿命を延ばすには。

【町長】今年度から「食」「運動」「健診」の3本柱を掲げ、町民総健

康づくり運動に取り組む。この運動の展開によって、全町民の健康意識の高位平準化を図る。

一人ひとりが自分の体にきちんと向き合い、生涯にわたって健康を享受できる人づくりを進めたい。



健康のチェックを